

ALL JAPAN EV-GP SERIES 2025 ROUND 4

AKIRA Racing CNR3 参戦レポート

2025/6/28

天候：晴 / ドライ

気温：35°C

コース：袖ヶ浦フォレストレースウェイ（千葉県）

●第4戦 全日本 袖ヶ浦 EV60km レース

今回の第4戦は、初戦と同じ袖ヶ浦フォレストレースウェイ。しかし距離は伸びて 60km のレースです。梅雨明けはまだのはずですが、朝から気温は高く予選開始前から 30 度近くまで上昇しています。



今回の MIRAI 104 号車のドライバーは、KYOJO CUP でも活躍中の金井宥希 (<https://x.com/yuki66017>) 選手。MIRAI は初ドライブですが事前に MIRAI のデータを作成し、シミュレーターでトレーニングを行ってきています。



予選開始は 9:45。開始と同時に金井選手が予選アタックに入ります。気温やバッテリーの関係でベストを出すのは 2、3 周目のケースが多いが、今回は慣れとバッテリーのバランスが丁度合ったのが 4 周目。1:27:511 というコンディションを考慮するとかなりいいタイムで 8 番手グリッド。上位は Tesla が占めているため、MIRAI 同等クラスの中ではトップタイム。



気温がぐんぐん上昇し、決勝スタートの 14:30 には 35 度。BEV 車にはかなり負担がかかるコンディションで 60km レースがスタート。



MIRAI は完璧なスタートだったがスタート時はどうしても後続の Note や Aura に分があり、1 コーナーで Aura と Note の 2 台と、最後尾からスタートした上位クラスの 5N に抜かされてしまう。

そのままオープニングラップから帰ってきた MIRAI。あと数周はこの順位が続くかと思われたが、2 周目に入るホームストレートで前を走る Note をパス。また翌周には同じくホームストレートで Aura もパスし、早くも MIRAI の前を行くマシンは全て上位クラスのマシンのみとなつた。



中盤からペースダウンも懸念されたが、金井選手はアクセルとブレーキ（回生）をうまく使い、1:30～31秒の安定したタイムで周回を重ね、後続車をジリジリと引き離し、一切追いつかせない走り。後半18周目にはベストタイムの1:29:127を出し全く問題のない走りで22周を走りきり、後ろとの差を30秒以上つけてそのまま9番手でチェックカーを受ける。



他車との「順位争い」というシーンはないが、安定した走りでMIRAIとしては最高の結果を残すことができたレースでした。

104号車 金井選手コメント



今回、車両のミライも袖ヶ浦のサーキットも、レース当日に初めて走ることになりました。事前にシミュレーターで練習していたおかげで、違和感なく走行スタートが出来ました。また、重い車両と聞いていたのでかなりアンダーが出やすいと思っておりましたが、曲がる際にしっかりとフロントが入りやすく、初めて走行する私でも安心してコーナリング出来ましたので、終始楽しくレースをすることが出来ました！

決勝は総合9位でしたが、上位はトップスピードが異なる速い車種で、スピード域が私と同じ車種グループの中では、予選と決勝ともに前に出ることが出来ました。しっかり目標を達成できた結果で、私自身もレース終了後に安心しました。

●次戦予定

Rd7 筑波 55km

開催日：2025 年 10 月 19 日（日）

開催場所：筑波サーキット